

今野義孝 年譜・研究業績



今野・義孝 (この・よしたか)

〈経歴〉

1. 学歴等

- 昭和45 (1970) 年3月 山形大学文理学部文文学科
国語国文学専攻卒業
- 昭和48 (1973) 年3月 山形大学教育学部養護学
校教員養成課程卒業
- 昭和50 (1975) 年3月 東京教育大学大学院教育
学研究科修士課程修了
(教育学修士)
- 昭和63 (1988) 年12月 教育学博士 (筑波大学乙
博第482号)

2. 職歴等

- 昭和50 (1975) 年7月 東京教育大学教育学部附
属教育相談施設助手
- 昭和53 (1978) 年4月 筑波大学心理学系助手
- 昭和53 (1978) 年8月 筑波大学学校教育部助手
- 昭和54 (1979) 年3月 筑波大学講師
- 昭和54 (1979) 年4月 文教大学教育学部講師
- 昭和58 (1983) 年5月 文教大学教育学部助教授
- 平成9 (1997) 年4月 文教大学教育学部教授
- 平成14 (2002) 年4月 文教大学人間科学部教授

〈所属学会等〉

- ・日本心理学会
- ・日本教育心理学会
- ・日本特殊教育学会 (常任編集委員 (1995年4月
～現在))
- ・日本心理臨床学会
- ・日本認知・行動療法学会 (旧、日本行動療法学
会)
- ・日本リハビリテーション心理学会 (評議員
(2003年4月～現在))
- ・日本LD学会
- ・日本人間性心理学会
- ・日本イメージ心理学会 (常任編集委員 (2003年
4月～現在)、大会会長 (2001年第3回大会))
- ・日本家族心理学会 (編集委員 (2007年4月～現
在)、大会会長 (2005年第22回大会))
- ・日本健康心理学会
- ・日本音楽療法学会
- ・日本臨床動作学会
- ・日本催眠医学心理学会
- ・日本カウンセリング学会 (常任編集委員 (2011
年4月～現在)、大会会長 (2010年第43回大会))
- ・日本自閉症スペクトラム学会 (常任理事 (2002

年9月～現在)、編集委員長 (2015年9月～現在)、
大会会長 (2003年第3回大会)

- ・日本発達障害学会
- ・日本認知療法学会
- ・日本マインドフルネス学会
- ・アメリカ心理学会 (APA)

〈社会的活動等〉

- ・社団法人埼玉犯罪被害者援助センター理事長
(2004年4月～2008年4月)
- ・埼玉県臨床心理士会会長 (1993年6月～1995年5
月、2002年6月～2011年5月)
- ・埼玉県就学支援委員会委員長 (1998年4月～
2008年3月)
- ・越谷市就学支援委員会委員 (1999年4月～現在)
- ・越谷市いじめ防止対策委員会委員長 (2015年6
月～現在)
- ・社会福祉法人和枝福祉会理事 (1996年4月～現
在)
- ・社団法人日本プライマルタルカウンセリング協会
顧問 (2014年5月～現在)

〈資格等〉

- ・中学校国語教員1級免許
- ・高等学校国語教員2級免許
- ・養護学校教員1級免許
- ・臨床心理士
- ・専門行動療法士
- ・心理リハビリテーションスーパーバイザー
- ・指導健康心理士
- ・学校心理士
- ・自閉症スペクトラム支援士エキスパート

〈著書等〉

1. 単著

- ・障害児の発達を促す動作法 1990, 学苑社.
- ・「癒し」のボディ・ワーク 1997, 学苑社.
- ・とけあい動作法 2005, 学苑社.
- ・懐かしさ出会い療法 2011, 学苑社.

・発達に障害のある子どものためのとけあい動作
法 2017, 明治図書.

2. 翻訳

- ・自閉症とマインドブラインドネス (共訳) 1997,
青土社.

3. ビデオ制作

- ・動作法—癒しのボディ・ワーク— (監修) 2001,
第1巻: 動作法の基礎 第2巻: 動作法の実際,
ジエムコ出版.

4. その他の著書

- ・情緒障害事典 (分担執筆) 1977, 岩崎学術出版.
- ・知能障害事典 (分担執筆) 1978, 岩崎学術出版.
- ・児童の成長と発達 (分担執筆) 1980, めいけい
出版.
- ・人間性の教育心理学 (分担執筆) 1980, 協同出
版社.
- ・学校の教育評価と実践の基本 (分担執筆) 1980,
第一法規.
- ・教育実習の手引き (分担執筆) 1983, めいけい
出版.
- ・障害児のための動作法 (分担執筆) 1984, 東京
書籍.
- ・養護・訓練の手引き (分担執筆) 1984, 文部省.
- ・実践精神遅滞児の教育 第2巻 (分担執筆) 1985,
第一法規.
- ・脳性まひ児の発達を促す指導のコツ (分担執
筆) 1987, 学苑社.
- ・心理リハビリテーションQ&A—障害児のため
の動作法— (分担執筆) 1987, 安田生命社会事
業団.
- ・教職課程講座 第2巻 発達と教育 (分担執筆)
1990, ぎょうせい.
- ・対談自閉症の最前線を行く (分担執筆) 1990,
学苑社.
- ・発達障害療育訓練ハンドブック 第4集 (分担執
筆) 1990, 日本精神薄弱連盟.
- ・障害児指導の方法 (分担執筆) 1990, 学苑社.
- ・発達障害臨床学 (分担執筆) 1992, 学苑社.
- ・動作訓練入門テキスト (分担執筆) 1992, 日本

- 肢体不自由児協会.
- ・心理面接学（分担執筆）1993, 垣内出版.
 - ・動作法ハンドブック—初心者のための技法入門—（分担執筆）1993, 慶応通信.
 - ・学校カウンセリング事典（分担執筆）1995, 児童心理, 金子書房.
 - ・学校教育全集第18巻（分担執筆）1994, ぎょうせい.
 - ・幼児期・児童期の問題と治療的カウンセリングの実際（分担執筆）1996, 明治図書.
 - ・養護学校における健康指導ハンドブック（分担執筆）1996, 埼玉県教育委員会.
 - ・障害福祉の基礎用語—知的障害を中心に—（分担執筆）1996, 財団法人日本精神薄弱愛護協会.
 - ・健康心理学辞典（分担執筆）1997, 実務教育出版.
 - ・[シンポジウム]「学校」教育の心理学（分担執筆）1998, 川島書店.
 - ・心理リハビリテーションに学ぶ（分担執筆）1998, 山形心理リハビリテーション研究会.
 - ・Embodiment of Mind: Eastern and Western Perspectives.（分担執筆）1998, Eburon. Netherland.
 - ・臨床心理学—貢献者の肖像と寄与—（分担執筆）1998, 現代のエスプリ別冊.
 - ・社会的かかわりにおける運動行動—障害・高齢者・国際化を中心に—（分担執筆）1999, 東海大学出版会.
 - ・発達障害児・者援助の最前線（分担執筆）1999, コレール社.
 - ・Bodywork and Psychotherapy in the East.（分担執筆）2000, Eburon. Netherland.
 - ・総説臨床心理学（分担執筆）2001, コレール社.
 - ・講座臨床動作法—スポーツ動作法—（分担執筆）2001, 学苑社.
 - ・講座臨床動作法—教育動作法—（分担執筆）2001, 学苑社.
 - ・発達臨床心理学（分担執筆）2002, コレール社.
 - ・講座臨床動作法—障害動作法—（分担執筆）2002, 学苑社.
 - ・絵本でひろがる楽しい授業（分担執筆）2003, 明治図書.
 - ・人間科学の臨床心理学（分担執筆）2004, 金剛

- 出版.
- ・心理療法ハンドブック（分担執筆）2005, 創元社.
 - ・こころの問題事典（分担執筆）2006, 平凡社.
 - ・International Mind 2008（分担執筆）2008, 北樹出版.
 - ・ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援（分担執筆）2009, 福村出版.

〈学位論文〉

1. 修士論文

- ・脳性まひ児の図形知覚における局外刺激の効果に関する一考察 東京教育大学大学院, 教育学修士, 1975年

2. 博士論文

- ・動作的アプローチによる発達障害児のセルフコントロールに関する研究—自閉症と注意欠陥障害をめぐって— 筑波大学, 教育学博士, 1988年

〈紀要・学会誌等掲載論文〉

- ・長期観察による行動変容過程の把握—発達に問題をもつ幼児の場合—（共著・筆頭）1976, 教育相談研究, 15, 37-46.
- ・慢性分裂病患者の言語条件づけに関する研究—条件づけの成立と病態像の変容との関係について（単著）1977, 東京教育大学教育学部紀要, 23, 129-138.
- ・自閉的な子どもの行動変容における集団治療の試み（1）—指示に従う行動の形成—（共著・筆頭）1977, 教育相談研究, 16, 7-16.
- ・音刺激に対する脳性まひ児のびっくり反応に関する研究（1）—動作訓練の効果とびっくり反応の慣れの関係について—（単著）1977, 教育相談研究, 16, 17-25.
- ・音刺激に対する脳性まひ児のびっくり反応に関する研究（2）—運動動作におけるコントロール能力の発達とstartle reflexの慣れについて—（単著）1978, 教育相談研究, 17, 25-37.
- ・自閉的な子どもの行動変容における集団治療の

- 試み (2) 一分節の明瞭な身体運動動作課題による指示行動の形成—(共著・筆頭) 1978, 教育相談研究, 17, 39-47.
- ・多動児の行動変容における腕あげ動作コントロール法の試み—行動変容における弛緩訓練の効果について—(単著) 1978, 東京教育大学教育学部紀要, 24, 187-195.
 - ・脳性まひ児の動作獲得過程に関する研究—不自由動作の変容過程とスタートル反射の消長過程との関係について—(共著・第二) 1979, 筑波大学学校教育部紀要, 1, 141-160.
 - ・多動児の行動変容における腕あげ動作コントロール法の効果について(共著・筆頭) 1979, 教育相談研究, 18, 29-48.
 - ・自閉的な子どもの行動変容における集団治療の試み (3) 一遊び行動の形成における身体運動動作課題の効果について—(共著・筆頭) 1979, 教育相談研究, 18, 65-72.
 - ・腕あげ動作コントロール訓練にともなう多動児の指尖容積脈波反応の変化について(単著) 1979, 文教大学教育学部紀要, 13, 37-46.
 - ・多動行動とその関連症状を示す子どもの音刺激に対する指尖容積脈波反応について(単著) 1980, 文教大学教育学部紀要, 14, 36-42.
 - ・自閉症児および多動児の自律系活動の自発性変動について(単著) 1981, 文教大学教育学部紀要, 14, 73-78.
 - ・自閉症児と多動児における多動行動とその関連症状の発達の比較(共著・筆頭) 1981, 特殊教育学研究, 19 (1), 37-47.
 - ・行動変容にともなう自閉症児と多動児の音刺激に対する脈波反応の変化(単著) 1982, 文教大学教育学部紀要, 16, 12-29.
 - ・腕あげ動作コントロール訓練における自閉症児群、多動児群、学習障害児群の訓練経過の比較(単著) 1983, 文教大学教育学部紀要, 17, 38-50.
 - ・腕あげ動作コントロール訓練における訓練経過と症状の改善との関係(単著) 1984, 文教大学教育学部紀要, 18, 24-35.
 - ・動作法の障害児治療教育への適用(単著) 1985, 特殊教育学研究, 23 (2), 61-66.
 - ・発達障害児に対する動作法の展開(単著) 1985, 文教大学教育学部紀要, 19, 55-64.
 - ・発達障害児に対する動作法の展開—身体への能動的な働きかけによる自己の確立—(単著) 1986, 文教大学教育学部紀要, 20, 20-33.
 - ・動作訓練による弛緩の受容に関する因子分析的研究(共著・筆頭) 1987, 心理学研究, 58 (1), 57-61.
 - ・障害とは何か—教育実践の中から得たもの—(単著) 1987, 教育心理学年報, 26, 112-117.
 - ・A comparison of the behavioral characteristics among autistic, hyperactive and learning disabled children.(単著) 1987, 文教大学教育学部紀要, 21, 59-70.
 - ・自閉症児の表情認知に関する研究(共著・第二) 1987, 教育心理学研究, 35 (4), 64-70.
 - ・動作法を中心としたリラクゼーション・プログラムの実施上の問題点と効果の測定(共著・第三) 1987, 昭和62年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅲ スポーツ選手のメンタルマネジメントに関する研究—第3報—, 25-34.
 - ・発達障害児に対する動作的アプローチの指導訓練的要因に関する考察(単著) 1988, 文教大学教育学部紀要, 22, 73-85.
 - ・筋緊張の弛緩による身体感覚の変化—触二点弁別閾の測定を用いて—(単著) 1989, 心理学研究, 60 (4), 209-215.
 - ・筋緊張の自己弛緩による自己像の変容過程の特徴 (1)(単著) 1989, 文教大学教育学部紀要, 23, 79-87.
 - ・弛緩訓練による自己像の変容過程(共著・筆頭) 1990, 催眠学研究, 34 (2), 17-19.
 - ・筋緊張の自己弛緩による自己像の変容過程の特徴 (2)(単著) 1990, 文教大学教育学部紀要, 24, 75-81.
 - ・動作法と自律訓練による心因性投球動作失調の治療例(単著) 1990, 催眠学研究, 35 (1-2), 22-27.
 - ・動作法の現状と課題(共著・筆頭) 1991, 特殊教育学研究, 28 (4), 45-52.
 - ・The effects of “DOHASA” training for improving the performance of Japanese archery.(単著) 1991, 文教大学教育学部紀要,

- 25, 1-11.
- ・からだ・ころ・ことば—自閉症児への動作法— (単著) 1992, 兵庫リハビリテーション心理学研究, 7, 1-24.
 - ・Principles and practice of the DOHSA-HOU for autistic children. (単著) 1992, The Journal of Rehabilitation Psychology, 17-19, 97-102.
 - ・自閉症児のからだ・ころ・ことば論 (1) —「なぞり」の障害と意味理解の障害— (単著) 1992, 文教大学教育学部紀要, 26, 100-113.
 - ・慢性緊張への気づきと心身の体験との関連性 (単著) 1993, 行動療法研究, 19 (2), 1-10.
 - ・Considerations on body, mind and speech in autistic children (2) (単著) 1993, 文教大学教育学部紀要, 27, 74-85.
 - ・ベンダー・ゲシュタルトテストの再検討—再認過程と構成過程の評価による— 共著 (筆頭) 1994, 特殊教育学研究, 32 (2), 39-45.
 - ・ゴルフのパッティングにおけるメンタルプラクティスと動作法の効果について (単著) 1994, 催眠学研究, 38 (2), 1-8.
 - ・重度障害児のコミュニケーション行動形成における指導技法の統合化に関する臨床的研究—行動療法と動作法を中心にして— (共著・第二) 平成4~5年度科学研究費補助金総合研究 (A) (課題番号04301026)
 - ・動作法における「とけあう体験の援助」(1) —基本的な枠組みと方法論— (単著) 1994, 文教大学教育学部紀要, 28, 69-81.
 - ・動作法におけるコミュニケーションの成立をめぐる (単著) 1994, 特別研究報告書心身障害児の運動障害にみられる課題とその指導に関する研究, 国立特殊教育総合研究所, 57-64.
 - ・身体の緊張—弛緩の体験と対人知覚—質問紙とパーソナル・スペースの測定を通して— (単著), 1995, 行動療法研究, 21 (6), 6-14.
 - ・武道の修行による自己像の変容 (単著) 1995, 人間性心理学研究, 13 (1), 20-28.
 - ・動作法における「とけあう体験の援助」(2) —自己との向かいあいを援助する— (単著) 1995, 文教大学教育学部紀要, 29, 73-82.
 - ・The effects of relaxation and postural training on external perception: Improvement of visual acuity, visual field, and hearing acuity. (単著) 1997, Japanese Psychological Research, 39 (2), 119-123.
 - ・わかりやすい動作法 (第1回) (単著) 1996, 養護学校の教育と展望, 101, 53-57.
 - ・わかりやすい動作法 (第2回) —姿勢づくりと歩行— (単著) 1996, 養護学校の教育と展望, 101, 53-57.
 - ・わかりやすい動作法 (第3回) —情緒の安定とコミュニケーションの改善— (単著) 1996, 養護学校の教育と展望, 101, 53-57.
 - ・わかりやすい動作法 (第4回) —仲間意識とコミュニケーションを育む動作法— (単著) 1996, 養護学校の教育と展望, 101, 53-57.
 - ・ボディ・ワークによる「援助技法」の授業 (単著) 1996, 文教大学教育学部紀要, 30, 121-130.
 - ・仲間とのコミュニケーションを育てる動作法—特殊学級や知的障害者施設における仲間づくり— (単著) 1997, 特殊教育学研究, 34 (5), 172-174.
 - ・とけあう体験の援助による脱感作法—とけあい脱感作法の試み— (単著) 1997, 行動療法研究, 23 (1), 29-38.
 - ・ファシリテーター・コミュニケーションによって語り出した「自閉」の人たち (単著) 1997, 文教大学教育学部紀要, 31, 45-54.
 - ・とけあい脱感作法による不安や恐怖反応の改善—不安神経症の事例と転換反応の事例を通して— (単著) 1998, 行動療法研究, 24 (1), 15-26.
 - ・ボディワークが精神分裂病者にもたらす治療的効果の検討: 予備的分析報告—生理的・心理的・対人的側面から— (共著・第七) 1998, 平成9年度順天堂精神医学研究所紀要, 40-47.
 - ・「とけあう体験の援助」によるリラクゼーションにおける体験の共有 (単著) 1998, 人間性心理学研究, 16 (2), 170-179.
 - ・とけあう体験の援助における援助者—クライアント間の共有体験 (単著) 1998, 文教大学教育学部紀要, 32, 65-77.
 - ・ボディワークが精神分裂病者にもたらす治療的効果の検討: 予備的分析報告—生理的・心理

- 的・対人的側面—（共著・第七）1999, 臨床精神医学, 28 (2), 199-206.
- ・ Lateral effects of muscular relaxation on visual and auditory responses. (単著) 1999, Japanese Psychological Research, 41 (4), 193-202.
 - ・ 動作法のワークショップが知的障害者施設職員の態度に及ぼす効果 (単著) 1999, 特殊教育学研究, 37 (2), 41-49.
 - ・ Is joint attention deficit in autistic children curable? : From the viewpoint of Dohsa-method based “body-experience sharing theory (BEST)”. (単著) 1999, The Annual Report of Educational Psychology in Japan, 38, 227-236.
 - ・ 関係性を育む教育的援助をめぐる (単著) 1999, 特殊教育学研究, 36 (5), 74-76.
 - ・ 発達臨床におけるタッチの意義について (単著) 1999, 文教大学教育学部紀要, 33, 37-77.
 - ・ 動作的アプローチによる自閉性発達障害児のコミュニケーションをめぐる (単著) 2000, 特殊教育学研究, 37 (5), 248-249.
 - ・ ラグビー競技における動作法とイメージ・トレーニングの効果 (単著) 2000, 催眠学研究, 45 (1), 17-23.
 - ・ 動作法のボディ・ワークによる教師間のコミュニケーションと児童理解の促進 (単著) 2000, 文教大学教育学部紀要, 34, 3-13.
 - ・ 障害児の出生前診断の現状と問題点 (共著・第二) 2000, 文教大学教育学部紀要, 34, 25-36.
 - ・ Modification of physiological and behavioral responsivity to auditory stimuli with the progress of Dohsa-method training in children with autism. (単著) 2001, The Japanese Journal of Special Education, 38 (6), 65-81.
 - ・ わが子虐待の早期発見と早期教育に関する考察—母子の愛着形成とわが子虐待の予防— (共著・筆頭) 2001, 文教大学教育学部紀要, 35, 105-117.
 - ・ わが子虐待の世代間伝達は断ち切れるか?—超早期における愛着形成を通して— (単著) 2001, 特殊教育学研究, 39 (2), 53-59.
 - ・ 「生きる力」をはぐくむ「開かれた共有空間」の構築を目指して (単著) 2002, 埼玉教育, 639, 6-9.
 - ・ 利用者のQOL 向上のための職員研修のあり方 (単著) 2002, 特殊教育学研究, 39 (5), 87-88.
 - ・ 腹部の突っ張り感を訴えた男性への動作法による面接 (単著) 2002, 人間科学研究 (文教大学人間科学部), 24, 33-42.
 - ・ Establishing joint attention and communication in a child with autism through Therapeutic Touch, including a “Sense of Melting” experience: Dohsa Method. (単著) 2003, The Japanese Journal of Special Education, 40 (6), 701-711.
 - ・ 懐かしさの感情体験に及ぼす動作法による快適な心身の体験—脳波の快適度と感情イメージ尺度による検討— (共著・筆頭) 2003, 人間科学研究 (文教大学人間科学部), 25, 63-72.
 - ・ 抑うつ症状を訴える女性への動作法によるカウンセリングの試み (共著・筆頭) 2004, 文教大学臨床相談研究所紀要, 8, 1-9.
 - ・ Effects of positive bodily experience on the change of depressive states in undergraduates: using Self-Rating Depression Scale and YG Personality Inventory. (共著・筆頭) 2004, 人間科学研究 (文教大学人間科学部), 26, 163-170.
 - ・ 動作法による胎児への愛着形成—虐待の超早期的予防介入に関する予備的検討— (共著・筆頭) 2004, 文教大学臨床相談研究所紀要, 9, 1-9.
 - ・ Behavioral and movement characteristics of children with autism or attention deficit hyperactive disorders. (単著) 2005, Japanese Journal of Special Education, 42 (6), 476-481.
 - ・ 施設利用者のQOLを高める取り組み—利用者の居場所を創る試み— (単著) 2005, 特殊教育学研究, 42 (5), 415-416.
 - ・ 臨床実践とイメージ：治療者とクライアントとのイメージの共有体験 (単著) 2005, イメージ心理学研究, 2 (1), 7-24.
 - ・ 動作法による立位踏みしめ感の変化と心理的な体験の変化 (共著・筆頭) 2005, 人間科学研究 (文教大学人間科学部), 27, 93-101.
 - ・ プレイセラピーにおけるクライアントとセラピストの関係性構築のプロセス (共著・第二) 2005, 文教大学臨床相談研究所紀要, 10, 11-21.

- ・自閉症の発達援助における体験の共有過程（共著・第二）2006, 特殊教育学研究, 43 (5), 428-429.
- ・知的障害者の就労支援に関する研究—S社の「チャレンジド雇用」—（共著・筆頭）2006, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 28, 67-76.
- ・攻撃行動を示すADHD児に対する動作法を用いた多面的アプローチ（共著・筆頭）2007, カウンセリング研究, 40 (2), 158-168.
- ・とけあい動作法による集団ストレスマネジメント（単著）2006, さいたま市養護教諭部会平成18年度研究紀要, 5, 91-104.
- ・動作法を応用した高齢者の回想法（懐かしさ出会い療法）の開発研究（単著）2007, 平成17年度～平成18年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究報告書.
- ・Effects of Dohsa-method induced positive mind-body experiences on enhancing nostalgic affects.（単著）2007, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 29, 117-127.
- ・The reduction of the pregnancy insecurity and enhancement of maternal-fetal attachment through perception of fetal movement during Dohsa-hou relaxation.（共著・第二）2008, Japanese Journal of Special Education, 45 (6), 405-422.
- ・動作法の快適な体験による過去の記憶想起と懐かしさの感情体験の促進効果（共著・筆頭）2008, カウンセリング研究, 41 (2), 1-11.
- ・動作法のリラクセーションによる足の踏み締め感と左右のパーソナル・スペースの変化（共著・筆頭）2008, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 30, 97-104.
- ・吹奏楽における「息の合う」演奏の促進に及ぼす動作法の効果（共著・筆頭）2009, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 31, 59-68.
- ・犯罪被害者・犯罪被害者家族への支援（単著）2010, 家族心理学年報, 28, 62-71.
- ・病院ベースの情報収集方法の検討—筋萎縮性側索硬化症および多系統萎縮症の患者について—（共著・第三）2010, 保健医療科学, 59 (3), 109-115.
- ・婚前カップルにおけるパートナーに対する期待内容の特徴—クラスタ分析によるカップル間の比較—（共著・第二）2010, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 32, 186-193.
- ・痛みの耐性に及ぼすユーモア映像刺激の効果に関する研究（共著・筆頭）2010, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 32, 161-167.
- ・Effects of positive body experience using the Dohsa method: Changes in the present and past self-image.（単著）2011, Journal of Mental Imagery, 35 (1&2), 63-81.
- ・高齢者の回想に及ぼす動作法の効果—過去の「想起様式」と懐かしさの「体験様式」との関連—（共著・筆頭）2011, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 33, 185-196.
- ・中学生におけるいじめとストレスの関連性についての研究（共著・第二）2011, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 33, 211-230.
- ・被害者支援—安心・安全の体験のなかで“つらい”出来事に向き合う—（単著）2012, 現代のエスプリ, 523, 170-181.
- ・発達障害児者の主体性を支援するユニバーサル・デザインの構造化—援助者と援助を受ける人との間のパートナー関係の構築—（単著）2012, 特殊教育学研究, 49 (5), 539-542.
- ・動作法による震災後の急性ストレス障害からの回復過程に関する事例研究（共著・筆頭）2012, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 34, 113-126.
- ・いじめの被害—加害経験と自尊感情との関係—大学生を対象とした遡及的調査研究—（共著・第二）2012, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 34, 169-182.
- ・とけあい脱感作法による不快な体験イメージの変容—イメージの情動成分の軽減と認知の再構成（単著）2012, イメージ心理学研究, 10, 37-41.
- ・共生社会の実現に向けたユニバーサル・デザインの支援（単著）2013, 特殊教育学研究, 50 (5), 523-25.
- ・とけあい脱感作法による不快な情動体験の再構成（共著・筆頭）2013, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 35, 103-120.

- ・大学生における過去のいじめ経験に関する質問紙調査—いじめ経験といじめの捉え方、および自尊感情との関係—（共著・第二）2013, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 35, 155-166.
- ・とけあい動作法による自閉症スペクトラム幼児の対人関係と言語行動の発達の变化—愛着と共同注意行動の形成を基盤にして—（単著）2014, 自閉症スペクトラム研究, 12（特集号）, 37-48.
- ・不安を訴える自閉症スペクトラム児への動作法面接（単著）2014, 自閉症スペクトラム研究, 12（1）, 15-17.
- ・過去の両親と過去の自分に対するイメージが現在の精神的健康に及ぼす影響—過去の出来事の回想機能との関連—（共著・筆頭）2014, 家族心理学研究, 28（1）, 1-13.
- ・過敏性腸症候群の軽減に及ぼす「とけあい脱感作法」の効果に関する研究（共著・筆頭）2014, カウンセリング研究, 47（3）, 159-169.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子への運動発達支援—運動動作の見立てと支援の基本的考え方—（単著）2014, 特別支援教育の実践情報, 159, 74-75.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子への運動発達支援—座位や立位の姿勢づくりの支援—（単著）2014, 特別支援教育の実践情報, 160, 74-75.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子への運動発達支援—腕と手の動作の支援—（単著）2014, 特別支援教育の実践情報, 161, 74-75.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子への運動発達支援—摂食動作や発声・発語動作の支援—（単著）2014, 特別支援教育の実践情報, 162, 74-75.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子への運動発達支援—イメージの表現動作の支援—（単著）2014, 特別支援教育の実践情報, 163, 74-75.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子への運動発達支援—情緒や行動のコントロールの支援—（単著）2014, 特別支援教育の実践情報, 164, 74-75.
- ・自閉症スペクトラムと反応性愛着障害が疑われる男児への動作法による愛着行動と共同注意行動の形成（単著）2015, 自閉症スペクトラム研究, 13（1）, 21-28.
- ・動作法&認知行動療法の視点でみる！ 障害のある子への『情緒・認知・行動』への援助—動作法と認知行動療法の統合的視点による援助—（単著）2015, 特別支援教育の実践情報, 165, 70-71.
- ・動作法&認知行動療法の視点でみる！ 障害のある子への『情緒・認知・行動』への援助—怒りや攻撃を抑えられない子への支援—（単著）2015, 特別支援教育の実践情報, 166, 70-71.
- ・動作法&認知行動療法の視点でみる！ 障害のある子への『情緒・認知・行動』への援助—トラウマ（心的外傷）を体験した子への支援—（単著）2015, 特別支援教育の実践情報, 167, 70-71.
- ・動作法&認知行動療法の視点でみる！ 障害のある子への『情緒・認知・行動』への援助—愛着障害が疑われる子どもへの支援—（単著）2015, 特別支援教育の実践情報, 168, 70-71.
- ・動作法によるマインドフルネスの態度が鏡映描写課題の遂行に及ぼす効果（共著・筆頭）2015, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 37, 99-109.
- ・動作法によるマインドフルネスの体験が実行機能課題のパフォーマンスに及ぼす効果（単著）2015, イメージ心理学研究, 13（1）, 35-39.
- ・愛着スタイルと自尊感情との関連—身体感覚への態度、マインドフルネス、反すう、レジリエンスの媒介効果—（共著・筆頭）2016, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 38, 137-148.
- ・Psychotherapeutic approach of Dohsa-hou in Japan.（単著）2016, Journal of Special Education Research, 5（1）, 11-17.
- ・動作法&認知行動療法の視点でみる！ 障害のある子への『情緒・認知・行動』への援助—ユニバーサルデザインの温かい学級を育む支援—（単著）2016, 特別支援教育の実践情報, 169, 74-75.
- ・動作法&認知行動療法の視点でみる！ 障害のある子への『情緒・認知・行動』への援助—不安や悩みを「逃がす」リラクゼーションと姿勢づくりの支援—（単著）2016, 特別支援教育の

- 実践情報, 170, 72-73.
- ・動作法の視点でみる！ 障害のある子が抱える困難への支援—過敏性のある子どもへの支援—（単著）2016, 特別支援教育の実践情報, 171, 74-75.
 - ・動作法の視点でみる！ 障害のある子が抱える困難への支援—緘黙の子どもへの支援—（単著）2016, 特別支援教育の実践情報, 172, 70-71.
 - ・動作法の視点でみる！ 障害のある子が抱える困難への支援—常同行動や自己刺激的行動をする子どもへの支援—（単著）2016, 特別支援教育の実践情報, 173, 70-71.
 - ・動作法の視点でみる！ 障害のある子が抱える困難への支援—「嘘」をつく子どもへの支援—（単著）2016, 特別支援教育の実践情報, 174, 70-71.
 - ・身体の体験の仕方がマインドフルネスの態度と抑うつへの反すう、レジリエンス、および自尊心に及ぼす影響（共著・筆頭）2017, 人間科学研究（文教大学人間科学部）, 39, 105-114.
 - ・発達遅滞児の行動変容における集団治療の試み（2）—事例研究—（共著・第二）1977, 日本特殊教育学会第15回大会発表論文集.
 - ・多動児の行動変容における腕あげ動作コントロール法の試み（単著）1977, 日本心理学会第41回大会論文集.
 - ・恐怖症状の強い発達障害児に対する腕あげ動作法の適用（単著）1978, 日本心理学会第42回大会論文集.
 - ・音刺激に対する脳性まひ児のstartle reflexについて—動作の発達過程とstartle reflexの消長過程との関係について—（共著・筆頭）1978, 日本特殊教育学会第16回大会発表論文集.
 - ・多動児の行動変容における腕あげ動作コントロール法の試み（共著・第二）1978, 日本特殊教育学会第16回大会発表論文集.
 - ・多動的な子どもの行動変容に対する腕あげ動作コントロール法の試み—行動変容における弛緩訓練の効果について—（共著・第二）1978, 日本特殊教育学会第16回大会発表論文集.
 - ・自閉的な子どもの行動変容における集団治療—自由遊び場面での行動変容—（共著・第二）1978, 日本特殊教育学会第16回大会発表論文集.
 - ・腕あげ動作コントロール訓練法による多動行動の変容過程における一時的退行について（共著・第二）1979, 日本特殊教育学会第17回大会発表論文集.
 - ・動作訓練法による多動行動の変容について—仰臥姿勢における全身弛緩動作コントロール訓練の効果—（共著・筆頭）1979, 日本特殊教育学会第17回大会発表論文集.
 - ・多動行動の顕在化プロセスについての一考察（単著）1979, 日本心理学会第43回大会論文集.
 - ・脳性まひ児における身体の自己認知と随伴緊張の制御過程（共著・第三）1980, 日本特殊教育学会第18回大会発表論文集.
 - ・多動とその関連症状を示す子どもの音刺激に対する脈波反応について（共著・筆頭）1980, 日本心理学会第44回大会論文集.
 - ・多動行動とその関連症状を示す子どもの安静時脈波の自発性変動について（共著・筆頭）1981, 日本心理学会第45回大会論文集.

〈学会発表論文〉

- ・脳性まひ児の図形知覚における局外刺激の効果に関する一考察（単著）1975, 日本特殊教育学会第13回大会発表論文集.
- ・脳性まひ児の図形知覚における局外刺激の効果について—知能・病型との関係を中心に—（単著）1976, 日本特殊教育学会第14回大会発表論文集.
- ・強度音刺激に対する指尖容積脈波の特性—運動反応を随伴させた場合—（共著・筆頭）1976, 日本心理学会第40回大会論文集.
- ・慢性分裂病患者における言語条件づけの研究（単著）1976, 日本教育心理学会第18回総会論文集.
- ・音刺激に対する脳性まひ児の反応に関する一考察—VTRによる運動反応の分析—（単著）1977, 日本特殊教育学会第15回大会発表論文集.
- ・発達遅滞児の行動変容における集団治療の試み（1）—指示に従う行動の形成—（共著・第二）1977, 日本特殊教育学会第15回大会発表論文集.

- ・脳性まひ児における身体動作の分化と随伴緊張の制御について（共著・第三）1981, 日本特殊教育学会第19回大会発表論文集.
- ・多動行動とその関連症状の変容における身体に対する気づきについて（共著・筆頭）1981, 日本特殊教育学会第19回大会発表論文集.
- ・行動変容に伴う多動児及び自閉症児の刺激反応性の変化（単著）1982, 日本特殊教育学会第20回大会発表論文集.
- ・多動行動とその関連症状をもつ重度精神遅滞児に対する立位訓練の試み（共著・第三）1982, 日本特殊教育学会第20回大会発表論文集.
- ・腕あげ動作コントロール訓練法の訓練プログラムについて（単著）1983, 日本心理学会第47回大会論文集.
- ・症状別にみた腕あげ動作コントロール訓練における訓練経過の比較（共著・筆頭）1983, 日本特殊教育学会第21回大会発表論文集.
- ・自閉症状を示す重度発達遅滞児に対する立位動作法の適用（共著・第三）1983, 日本特殊教育学会第21回大会発表論文集.
- ・自閉症児、多動児、学習障害児の動作特徴の比較に関する一考察（単著）1984, 日本教育心理学会第26回総会論文集.
- ・腕あげ動作コントロール訓練における訓練経過と行動変容との関係について（共著・筆頭）1984, 日本特殊教育学会第22回大会発表論文集.
- ・自閉症状を示す重度発達遅滞児に対する立位動作訓練法の適用（続報）（共著・第三）1984, 日本特殊教育学会第22回大会発表論文集.
- ・自閉症児の表情認知に関する研究—表情刺激への注視時間を指標にして—（共著・第四）1984, 日本特殊教育学会第22回大会発表論文集.
- ・自閉症児、多動児、学習障害児の行動特徴の比較（単著）1985, 日本心理学会第49回大会論文集.
- ・発達障害児の動作特徴と行動特徴の関連性（単著）1985, 日本教育心理学会第27回総会論文集.
- ・腕あげ動作コントロール訓練による適応行動の変容（単著）1985, 日本特殊教育学会第23回大会発表論文集.
- ・幼児と自閉症児の図形処理過程における視覚的探索活動（共著・第三）1985, 日本特殊教育学会第23回大会発表論文集.
- ・脳性まひ児の立位・歩行動作獲得に関する訓練事例（共著・第三）1985, 日本特殊教育学会第23回大会発表論文集.
- ・年長重度精神遅滞児に対する腕あげ動作コントロール訓練法の試み（単著）1986, 日本特殊教育学会第24回大会発表論文集.
- ・発達障害児に対する腕あげ動作コントロール訓練法の試み—認知活動の変容を中心に—（共著・第二）1986, 日本特殊教育学会第24回大会発表論文集.
- ・動作法による多動児の行動変容となぞり描きの変化（共著・第三）1986, 日本特殊教育学会第24回大会発表論文集.
- ・シンポジウム：障害とは何か—教育実践の中から得たもの— 1986, 日本教育心理学会第28回総会論文集.
- ・シンポジウム：心身障害児へのアプローチ—動作法によるアプローチ— 1987, 日本特殊教育学会第25回大会発表論文集.
- ・腕あげ動作コントロール訓練による多動児の指導事例（単著）1988, 日本特殊教育学会第26回大会発表論文集.
- ・動作法による自閉症児の発達援助の試み（共著・第二）1988, 日本特殊教育学会第26回大会発表論文集.
- ・筋弛緩による自己像の変容について（共著・筆頭）1988, 日本心理学会第52回大会論文集.
- ・自閉症児の歩行動作に関する一考察（共著・第二）1988, 日本特殊教育学会第26回大会発表論文集.
- ・動作法による自閉症児の言語行動の変容経過の分析（1）—行動療法的アプローチとの提携モデル作製のための探索的な試み—（共著・筆頭）1989, 日本特殊教育学会第27回大会発表論文集.
- ・動作法による自己像の変容過程についての検討（共著・筆頭）1989, 日本心理学会第53回大会論文集.
- ・自律訓練による自己像の変容過程（共著・筆頭）1989, 日本催眠医学心理学会第35回大会論文集.
- ・弛緩による自己像の変容について—自律訓練法

- と動作法との比較— (共著・筆頭) 1990, 日本心理学会第54回大会論文集.
- ・動作法による自閉症児の言語行動の変容過程の分析 (2) —行動療法的アプローチを併用した発語の形成— (共著・筆頭) 1990, 日本特殊教育学会第28回大会発表論文集.
 - ・動作法と自律訓練による投球動作失調症の治療 (単著) 1990, 日本催眠医学心理学会第36回大会論文集.
 - ・慢性緊張への気づきと自己像との関連 (1) —弛緩による心身の変化および自己像質問紙に対する反応— (単著) 1991, 日本心理学会第55回大会論文集.
 - ・動作法による発達障害児の行動変容—とけあう体験の援助を中心としたアプローチ— (単著) 1991, 日本特殊教育学会第29回大会発表論文集.
 - ・解説講演: 動作法の基礎と応用 1991, 日本特殊教育学会第29回大会発表論文集.
 - ・ワークショップ: 教育現場における臨床研究のあり方—効果的な指導記録の取り方と活用の仕方 1991, 日本特殊教育学会第29回大会発表論文集.
 - ・シンポジウム: 障害児の治療・指導の技法をめぐって 1991, 日本特殊教育学会第29回大会発表論文集.
 - ・ワークショップ: 運動行動に関する研究の現状と展望 1991, 日本特殊教育学会第29回大会発表論文集.
 - ・弓道のパフォーマンスの向上に関する動作訓練の効果 (単著) 1991, 日本催眠医学心理学会第37回大会論文集.
 - ・The effects of “DOHSA” training for improving the performance of Japanese archery. (共著・筆頭) 1991, First Asian South Pacific Association of Sports Psychology International Congress.
 - ・The improvement of self-control for children with poor posture using “DOHSA” training. (共著・第三) 1991, First Asian South Pacific Association of Sports Psychology International Congress.
 - ・The effects of motor skill and mental steadiness of a soccer player and javelin thrower through Dohsa training. (共著・第三) 1991, First Asian South Pacific Association of Sports Psychology International Congress.
 - ・慢性緊張への気づきと自己像との関連 (2) —Y-Gテスト、ロールシャッハテスト、TSTを通して— (単著) 1992, 日本心理学会第56回大会論文集.
 - ・動作法における「とけあう体験」について (1) —「とけあう体験」の構造とその臨床的応用— (共著・筆頭) 1992, 日本特殊教育学会第30回大会発表論文集.
 - ・動作法における「とけあう体験」について (2) —内省報告による成人での実験的検討— (共著・第三) 1992, 日本特殊教育学会第30回大会発表論文集.
 - ・動作法における「とけあう体験」について (3) —生理反応による成人での実験的検討— (共著・第三) 1992, 日本特殊教育学会第30回大会発表論文集.
 - ・The effect of DOHSA Method for improving autistic disturbances. (単著) 1992, 25th International Congress of Psychology Brussels.
 - ・Modification of self-image through Autogenic Training and Dosa Training. (単著) 1993, International Congress of Health Psychology.
 - ・Dosa-Method (Motor Action Training) for autistic children and hyperactive children. (単著) 1993, 第9回障害者ヘルスフィットネス国際会議.
 - ・動作法における「とけあう体験」について (4) —内省報告と生理反応の関係について— (共著・第三) 1993, 日本特殊教育学会第31回大会発表論文集.
 - ・動作法における「とけあう体験」について (5) —変性意識と生理反応の関係について— (共著・第三) 1993, 日本特殊教育学会第31回大会発表論文集.
 - ・ダウン症児におけるJoint Attentionの形成過程について—動作法・「とけあう体験」を通して— (共著・第二) 1993, 日本特殊教育学会第31回大会発表論文集.

- ・動作法における「とけあう体験」の援助—母子関係形成のための母親支援プログラム—（共著・筆頭）1993, 日本特殊教育学会第31回大会発表論文集.
- ・Effects of image-training and Dohsa-training on golf putting performance. (単著) 1993, 3rd International Conference on Behavioral Self-Regulation and Health.
- ・身体の緊張—弛緩の体験と対人知覚との関係（単著）1993, 日本心理学会第57回大会論文集.
- ・ワークショップ：「表出援助」場面に現れた諸現象をめぐって 1993, 日本特殊教育学会第31回大会発表論文集.
- ・ワークショップ：特殊教育現場における臨床研究のあり方Ⅲ—教員研修をめぐって— 1993, 日本特殊教育学会第31回大会発表論文集.
- ・動作法を用いた地域の高齢障害者とその家族を支える介護ボランティア・プログラム（共著・筆頭）1994, 日本教育心理学会第36回総会論文集.
- ・対人知覚に及ぼす弛緩体験の効果について—質問紙法と対人距離測定を通して—（単著）1994, 日本心理学会第58回大会論文集.
- ・動作法における「とけあう体験の援助」—「なぞり」活動の形成を中心に—（共著・筆頭）1994, 日本特殊教育学会第32回大会発表論文集.
- ・身体の弛緩の体験による外界知覚の変容について（共著・第三）1994, 日本行動療法学会第20回大会論文集.
- ・学習に障害をもつ児童に関する動作法の試み（1）—指導者と児童とのかかわり方の変化を中心に—（共著・第三）1994, 日本特殊教育学会第32回大会発表論文集.
- ・学習に障害をもつ児童に関する動作法の試み（2）—学習能力の改善についての検討—（共著・第三）1994, 日本特殊教育学会第32回大会発表論文集.
- ・ワークショップ：「表出援助法」、「Facilitated Communication」の場面に現れた諸現象をめぐって 1994, 日本特殊教育学会第32回大会発表論文集.
- ・ワークショップ：治療教育における「とけあう体験」の援助の可能性をめぐって 1994, 日本特殊教育学会第32回大会発表論文集.
- ・ワークショップ：直立姿勢の動的安定性のメカニズムⅡ 1994, 日本心理学会第58回大会論文集.
- ・The effects of relaxation and postural training on hearing and visual acuity. (共著・筆頭) 1995, 2nd International Congress Asian-South Pacific Association of Sport Psychology, Hong Kong.
- ・Modification of self-image through Aikido practice. (共著・筆頭) 1995, IV European Congress of Psychology, Athens, Greece.
- ・Modification of self-image through Japanese martial art Aikido. (単著) 1995, World Congress on Mental Training and Excellence, Ottawa.
- ・動作法による過敏反応や身体感覚へのとらわれのコントロール（共著・筆頭）1995, 日本特殊教育学会第33回大会発表論文集.
- ・動作法による知恵遅れを伴う肢体不自由児への援助—姿勢づくりと外界への働きかけとの関係—（共著・第二）1995, 日本特殊教育学会第33回大会発表論文集.
- ・動作法による高齢障害者への動作改善の援助（共著・筆頭）1995, 日本教育心理学会第37回総会論文集.
- ・慢性緊張の制御と姿勢制御が外界知覚に及ぼす効果—視力検査、視野検査、聴力検査による—（単著）1995, 日本心理学会第59回大会論文集.
- ・動作法による身体の体験過程—質問紙法と脈波反応を用いて—（共著・筆頭）1995, 日本行動療法学会第21回大会論文集.
- ・動作法による身体の体験過程—質問紙法とサーモグラフィーを用いて—（共著・第二）1995, 日本行動療法学会第21回大会論文集.
- ・シンポジウム：LD児に感覚統合療法は効果があるのか 1995, 日本LD学会第4回大会論文集.
- ・外界知覚に及ぼすリラクセーションと踏みしめ体験の側性効果—視力検査、視野検査、聴力検査を用いて—（単著）1996, 日本心理学会第60回大会論文集.
- ・足の裏への「とけあう体験の援助」による身体体験の変化—触覚防衛反応、触二点弁別閾、踏

- みしめ感の変化— (単著) 1996, 日本特殊教育学会第34回大会発表論文集.
- ・ Lateral effects of muscular relaxation on visual and auditory responses. (単著) 1996, 26th International Congress of Psychology, Montreal.
 - ・ Process of self-actualization through practicing the Japanese Martial Art Aikido. (単著) 1966, Transnational Network for Study of Physical, Psychological and Spiritual Well-being Conference, Montreal.
 - ・ ボディ・ワークによる「援助技法」授業の試み (共著・筆頭) 1996, 日本教育心理学会第38回総会論文集.
 - ・ 動作法の「とけあう体験の援助」を応用した脱感作法の試み—「とけあい脱感作法」— (単著) 1996, 日本行動療法学会第22回大会論文集.
 - ・ 抑うつ症状を合併した高血圧症例の心身医学的一治験例—行動療法の立場から— (単著) 1996, 日本心理医療諸連合 (UPM) 第9回論文集.
 - ・ ワークショップ：仲間とのコミュニケーションを育てる動作法—特殊学級や知的障害者施設における仲間づくり— 1996, 日本特殊教育学会第34回大会発表論文集.
 - ・ シンポジウム：実践研究の進め方 1996, 日本特殊教育学会第34回大会発表論文集.
 - ・ 姿勢の制御と視—運動知覚能力との関係 (単著) 1996, 日本LD学会第5回大会論文集.
 - ・ リラクゼーションと「以心伝心」 (単著) 1996, 日本催眠医学心理学会第41回大会論文集.
 - ・ シンポジウム：自閉・多動児に対する動作法を考える 1996, 日本リハビリテーション心理学会第21回総会.
 - ・ 講演：臨床動作法 1996, 第4回埼玉県臨床心理士会総会.
 - ・ 講演：動作と心 1996, 第29回全国情緒障害教育研究協議会山形大会報告集.
 - ・ からだと心—臨床動作法の立場から— (単著) 1997, 日本学術会議心理学研究連絡委員会主催シンポジウム：心と脳をめぐる.
 - ・ 動作法の体験を通じた施設職員の意識の変化 (1) (共著・筆頭) 1997, 日本教育心理学会第39回総会論文集.
 - ・ 足の裏の踏みしめ感と側方の対人距離 (単著) 1997, 日本心理学会第61回大会論文集.
 - ・ とけあう体験の援助による体表温度の変化—サーモトレーサーによる温度測定— (単著) 1997, 日本特殊教育学会第35回大会発表論文集.
 - ・ ワークショップ：臨床動作法—癒しのボディ・ワーカー— 日本人間性心理学会第16回大会.
 - ・ 情報の伝達に及ぼす身体体験の共有と親密度の効果 (単著) 1997, 日本催眠医学心理学会第43回大会論文集.
 - ・ とけあう体験の援助における被験者と実験者の共有体験 (1) —被験者と実験者の質問紙の評定を中心に— (共著・筆頭) 1998, 日本心理学会第62回大会発表論文集.
 - ・ とけあう体験の援助における被験者と実験者の共有体験 (2) —被験者の皮膚電位の反応の分析— (共著・第二) 1998, 日本心理学会第62回大会発表論文集.
 - ・ Co-experience between therapist and client during therapeutic touch. (単著) 1998, Transnational Network for the Study of Physical, Psychological, and Spiritual Wellbeing, 5th Conference, Beijing.
 - ・ シンポジウム：関係性を育む教育的援助をめぐる 1998, 日本特殊教育学会第36回大会発表論文集.
 - ・ リラクゼーションによる足指知覚の改善 (共著・筆頭) 1999, 日本心理学会第63回大会発表論文集.
 - ・ リストラの危機との闘いの中で腹部のつっぱりと歩行困難をきたした男性—動作法と催眠による新たな「よりどころ」の模索— (共著・筆頭) 1999, 日本心理臨床学会第18回大会発表論文集.
 - ・ シンポジウム：心理学における身体の問題—身体心理学の可能性— 1999, 日本心理学会第63回大会発表論文集.
 - ・ 教師間のコミュニケーションと児童理解のための動作法の試み (単著) 1999, 日本教育心理学会第41回総会論文集.
 - ・ 動作法による耳鳴りとその関連症状の改善 (単著) 1999, 日本行動療法学会第25回大会発表論文集.
 - ・ ラグビー選手に対する動作法とイメージトレー

- ニングの効果（単著）1999, 日本催眠医学心理学会第45回大会発表論文集.
- ・痛みに対するユーモア喚起ビデオのcoping効果（単著）1999, 日本健康心理学会第12回大会発表論文集.
 - ・シンポジウム：行動療法家を育てる 1999, 日本行動療法学会第25回大会発表論文集.
 - ・ボディワークと感情（共著・第二）1999, 日本感情心理学第7回大会発表論文集.
 - ・動作法による発達障害児のコミュニケーションの援助—「とけあう体験の援助」のビデオ分析—（単著）1999, 日本特殊教育学会第37回大会発表論文集.
 - ・シンポジウム：動作的アプローチによる自閉性発達障害児のコミュニケーションの援助をめぐって 1999, 日本特殊教育学会第37回大会発表論文集.
 - ・シンポジウム：スポーツ心理学が障害児者スポーツに寄与しうる可能性を探る 1999, 日本スポーツ心理学会第26回大会発表論文集.
 - ・記念講演：からだと心の共有体験を支えるイメージ 1999, 日本教育催眠学会第25回大会発表論文集.
 - ・教師間のコミュニケーションと児童理解のための動作法の試み（2）（単著）2000, 日本教育心理学会第42回総会論文集.
 - ・抑うつ性の改善に及ぼす動作法の効果—自己評価式抑うつ尺度を通して—（単著）2000, 日本心理学会第64回大会発表論文集.
 - ・動作法による発達障害児のコミュニケーション行動の形成（共著・筆頭）2000, 日本特殊教育学会第38回大会発表論文集.
 - ・知的障害児における利き手の分化に関する研究（共著・第三）2000, 日本特殊教育学会第38回大会発表論文集.
 - ・Effects of Dohsa-method relaxation on the improvement of depressive states in undergraduates.（共著・筆頭）2000, 27th International Congress of Psychology, Stockholm, Sweden.
 - ・Y-G性格検査に及ぼす動作法の体験の効果（共著・筆頭）2001, 日本心理学会第65回大会発表論文集.
 - ・多動で乱暴な男児への自己コントロールの援助—学校・家庭・地域への支援プログラム—（共著・筆頭）2001, 日本教育心理学会第43回総会発表論文集.
 - ・スクールカウンセラー導入に関する一考察（共著・第二）2001, 日本教育心理学会第43回総会発表論文集.
 - ・「学級崩壊」の現状に関する調査研究（その1）（共著・第二）2001, 日本教育心理学会第43回総会発表論文集.
 - ・抑うつ症状を訴える主婦への動作法を用いた面接（共著・筆頭）2001, 日本心理臨床学会第20回大会発表論文集.
 - ・シンポジウム：利用者のQOL向上のための職員研修のあり方 2001, 日本特殊教育学会第39回大会発表論文集.
 - ・特殊学級の授業展開における動作法の応用（単著）2001, 日本特殊教育学会第39回大会発表論文集.
 - ・Establishing joint attention through shared body-experience in autistic children.（共著・筆頭）2001, 10th European Conference on Developmental Psychology, Uppsala, Sweden.
 - ・Effects of muscular relaxation on the changes of Y-G test scores in undergraduates.（共著・筆頭）2002, 25th International Congress of Applied Psychology, Singapore.
 - ・動作法の体験による抑うつ感の変化—SDSとYG-Dの下位項目の検討—（共著・筆頭）2002, 日本心理学会第66回大会発表論文集.
 - ・動作法による障害児者施設へのスーパービジョンの試み（単著）2002, 日本特殊教育学会第40回大会発表論文集.
 - ・シンポジウム：利用者のQOL向上のための職員研修—職員の意識・態度の変化— 2002, 日本特殊教育学会第40回大会発表論文集.
 - ・妊婦への動作法の試み—心身の快適な体験と胎児への愛着形成—（共著・筆頭）2002, 日本家族心理学会第19回大会発表論文集.
 - ・ワークショップ：動作療法 2002, 日本カウンセリング学会35回大会発表論文集.

- ・快適な心身の体験は「懐かしさ」へのアクセシビリティを促進するか？（単著）2002, 日本イメージ心理学会第3回大会発表論文集.
- ・肩こり感に関する生理的・心理的研究（2）—身体心理学の研究（76）—（共著・第三）2002, 日本心理学会第66回大会発表論文集.
- ・動作法の快適な心身の体験による抑うつ感の改善—SDS（自己評価式抑うつ尺度）とY-G性格検査を通して—（単著）2002, 日本行動療法学会第28回大会発表論文集.
- ・シンポジウム：認知行動療法に身体の体験を活かす 2002, 日本行動療法学会第28回大会発表論文集.
- ・動作法による立位・踏み締め感の安定化（共著・筆頭）2003, 日本心理学会第67回大会発表論文集.
- ・Effects of positive bodily experience on the change of depressive states in undergraduates :using self-rating depression scale and YG personality inventory.（共著・筆頭）2003, 8th European Congress of Psychology, Vienna, Austria.
- ・重度脳性まひ児に対する「とけあう体験の援助」の有効性についての実践研究（共著・第二）2003, 日本特殊教育学会第40回大会発表論文集.
- ・動作法による胎児への愛着形成の試み—出生前愛着尺度と生理反応による評価—（共著・筆頭）2003, 日本家族心理学会第20回大会発表論文集.
- ・動作法による障害児通園施設へのスーパービジョン—保護者へのアンケート調査の分析—（単著）2003, 日本特殊教育学会第40回大会発表論文集.
- ・Effects of positive mind-body experiences on EEG pleasantness and nostalgic affects.（共著・筆頭）2004, 28th International Congress of Psychology, Beijing.
- ・Effects of positive bodily experience on the scores of self-rating depression scale and YG personality inventory.（共著・筆頭）2004, World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies, 2004, Kobe.
- ・シンポジウム：施設利用者のQOLを高める取り組み—利用者の居場所を創る試み— 2004, 日本特殊教育学会第42回大会発表論文集.
- ・動作法と「外在化」を併用した自己コントロール法の試み—「悪い虫」をリラクゼーションで負いだす—（共著・筆頭）2004, 日本特殊教育学会第42回大会発表論文集.
- ・シンポジウム：ライフステージに応じた自閉症スペクトラムの支援 2004, 日本自閉症スペクトラム学会第3回研究大会発表論文集.
- ・Establishment of prenatal attachment through positive mind-body experiences: A preliminary intervention for very early prevention of child abuse.（共著・筆頭）2005, 12th European Congress Developmental Psychology, Spain.
- ・ワークショップ：家族支援の臨床動作法 2005, 日本家族心理学会第22回大会発表論文集.
- ・動作法を応用した回想法—「懐かしさ出会い療法」の開発—（共著・筆頭）2005, 日本心理学会第68回大会発表論文集.
- ・とけあい動作法による虐待傾向の母親への支援—虐待に対する不安の軽減と愛着関係の形成—（単著）2005, 日本特殊教育学会第43回大会発表論文集.
- ・シンポジウム：自閉症の発達援助における体験の共有過程 2005, 日本特殊教育学会第43回大会発表論文集.
- ・攻撃行動の激しいADHD児をめぐる家庭・学校・地域への動作法を用いた支援（共著・筆頭）2005, 日本カウンセリング学会38回大会発表論文集.
- ・中学校における生徒と教師のストレスに関する調査（共著・第二）2005, 日本カウンセリング学会38回大会発表論文集.
- ・動作法に快適な身体の体験を応用した回想法—「懐かしさ出会い療法」—の開発（共著・筆頭）2005, 日本心理臨床学会第24回大会発表論文集.
- ・実技ワークショップ：自閉症児・者 2005, 心理リハビリテーションの会第31回大会論文集.
- ・動作法による大学生における懐かしさの体験の変化—記憶想起様式と懐かしさの体験様式との関連性—（共著・筆頭）2006, 日本カウンセリング学会39回大会発表論文集.

- ・中学校における生徒と教師のストレスに関する調査(2)(共著・第二)2006,日本カウンセリング学会39回大会発表論文集.
- ・妊婦への動作法—自己意識の変化と胎児への愛着形成—(共著・筆頭)2006,日本家族心理学会第23回大会発表論文集.
- ・動作法による発達障害児の過敏性の軽減と情緒・行動の変化(共著・筆頭)2006,日本特殊教育学会第44回大会発表論文集.
- ・動作法を応用した高齢者の回想法(懐かしさ出会い療法)の開発(単著)2006,日本健康心理学会第19回大会発表論文集.
- ・動作法による発達障害児の脈波反応—音刺激に対する反応と自覚性変動—(単著)2008,日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会発表論文集.
- ・知的障害養護学校における自閉症児の指導(共著・第二)2006,日本特殊教育学会第44回大会発表論文集.
- ・動作法の体験による肯定的セルフイメージの促進(共著・筆頭)2006,日本行動療法学会第32回大会発表論文集.
- ・動作法の体験による「抑うつスパイラル」の軽減—ポジティブな身体の体験とマインドフルネス的態度—(単著)2006,日本認知療法学会第6回大会発表論文集.
- ・試験通過に向けたセルフコントロールに関する研究—調整型と改良型に焦点を当てた質問紙の作製—(共著・第二)2006,日本行動療法学会第32回大会発表論文集.
- ・ワークショップ:カウンセリングに生かす動作法—とけあい動作法—2006,日本カウンセリング学会39回大会発表論文集.
- ・結婚レディネス査定尺度(パートナーズ・テスト)によるハイリスク・カップルのスクリーニング(共著・第二)2007,日本家族心理学会第24回大会発表論文集.
- ・大学生における親子イメージと精神的回復力の関係—FITとレジリエンス尺度による検討—(共著・第二)2007,日本家族心理学会第24回大会発表論文集.
- ・笑いによるストレス低減効果に関する研究—質問紙と面接を通して—日本健康心理学会第20回大会発表論文集.
- ・シンポジウム:さわやか相談員の研修プログラムの実践2007,日本教育心理学会第49回総会論文集.
- ・シンポジウム:学級作りと授業作りにもとづく特別支援教育2007,日本教育心理学会第49回総会論文集.
- ・動作法の体験による不合理な信念の変容に関する研究(共著・筆頭)2007,日本心理学会第71回大会発表論文集.
- ・動作法による高齢者の懐かしさの体験型の変化(共著・筆頭)2007,日本心理臨床学会第26回大会発表論文集.
- ・リラクゼーションの観察が気分の変化にもたらす影響—質問紙と内省報告による検討—(共著・第二)2007,日本イメージ心理学会第8回大会発表論文集.
- ・シンポジウム:役立つ発達検査の開発2007,日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会発表論文集.
- ・動作法による脳性まひ児の「自傷行動」のコントロール(単著)2007,日本特殊教育学会第45回大会発表論文集.
- ・動作法を応用した抑うつ認知行動療法(共著・筆頭)2007,日本行動療法学会第33回大会発表論文集.
- ・身体による自然体験を通じた自己と世界の変化(共著・第二)2007,日本イメージ心理学会第8回大会発表論文集.
- ・とけあい動作法による不合理な信念の改善(共著・第二)2007,日本行動療法学会第33回大会発表論文集.
- ・シンポジウム:健康のための動作法2007,心理リハビリテーションの会第33回全国大会発表論文集.
- ・動作法を用いた高齢者の回想法に関する研究—懐かしさの体験型と想起様式の関係—(共著・筆頭)2008,日本心理臨床学会第27回大会発表論文集.
- ・衝動性に悩む児童とその両親への動作法による援助—自尊感情を育む快適な心身の体験—

- ・(単著) 2008, 日本特殊教育学会第46回大会発表論文集.
- ・虐待傾向のある母親への動作法面接(共著・筆頭) 2008, 日本家族心理学会第25回大会発表論文集.
- ・結婚の過程におけるカップルの成長について—パートナーズ・テストを用いた事例—(共著・第二) 2008, 日本家族心理学会第25回大会発表論文集.
- ・被虐待児童とその両親への支援のための学校コンサルテーション(共著・筆頭) 2008, 日本カウンセリング学会第41回大会発表論文集.
- ・中学生のストレスコーピングといじめに関する意識について(共著・第二) 2008, 日本カウンセリング学会第41回大会発表論文集.
- ・耳鳴りへの認知行動療法—動作法の体験によるマインドフルネスの態度の形成—(共著・筆頭) 2008, 日本行動療法学会第34回大会発表論文集.
- ・特別支援教育における学生支援教員の活用のあり方—大学と自治体の連携による学生支援員の派遣—(共著・第二) 2008, 日本LD学会第17回大会発表論文集.
- ・動作法による吹奏楽演奏における「息の合う」体験(単著) 2008, 日本臨床動作学会第16回大会発表論文集.
- ・シンポジウム：リラクゼーションに見る心身一元現象の研究 2008, 日本臨床動作学会第16回大会発表論文集.
- ・動作法の快適な体験の共有による吹奏楽における「息の合う演奏」の促進(単著) 2008, 日本イメージ心理学会第9回大会発表論文集.
- ・動作法ワークショップに参加したカウンセラーの体験(共著・筆頭) 2009, 日本カウンセリング学会第42回大会発表論文集.
- ・アスペルガー障害児の中学卒業後の援助の在り方について(共著・第二) 2009, 日本カウンセリング学会第42回大会発表論文集.
- ・ワークショップ：抑うつの情報処理 2009, 日本心理学会第73回大会発表論文集.
- ・不安の軽減に及ぼすセルフとけあい動作法の効果(共著・筆頭) 2009, 日本心理学会第73回大会発表論文集.
- ・動作法によって“懐かしさ”と巡り会った脳卒中の男性—家庭での妻によるとけあい動作法の試み—(共著・筆頭) 2009, 日本心理臨床学会第28回大会発表論文集.
- ・動作法による—自閉症児の行動の変容のプロセス—「一時的な退行」とその回復について—(単著) 2009, 日本自閉症スペクトラム学会第8回研究大会発表論文集.
- ・シンポジウム：個々の自閉症児の特性に合わせた支援とは 2009, 日本自閉症スペクトラム学会第8回研究大会発表論文集.
- ・動作法による心身の体験の変化—リラクゼーションと踏み締め感を中心に—(共著・筆頭) 2009, 日本行動療法学会第35回大会発表論文集.
- ・動作法を応用した教師の集団ストレスマネジメント(単著) 2009, 日本健康心理学会第22回大会発表論文集.
- ・催眠リラクセス暗示による懐かしさの体験の促進(単著) 2009, 日本催眠医学心理学会第55回大会発表論文集.
- ・学習態度に及ぼす姿勢コントロールの効果(共著・筆頭) 2010, 日本教育心理学会第52回総会発表論文集.
- ・シンポジウム：自閉症児・者の支援における「構造化」の課題と今後の展望—外的な構造化と内的な構造化の調和をめぐる— 2010, 日本特殊教育学会第48回大会発表論文集.
- ・腹痛と下痢を訴える女子学生に対する「とけあい脱感作法」を用いた面接—問題状況の静かな観察と本質的な意味への気づき—(単著) 2010, 日本認知療法学会第10回学術大会発表論文集.
- ・更年期障害の母親に対する家族による動作法の援助(共著・第二) 2010, 日本家族心理学会第27回大会発表論文集.
- ・通常学級における特別支援を必要とする児童への取り組み—担任と学生補助教員の連携による学級全体への支援—(共著・筆頭) 2010, 日本特殊教育学会第48回大会発表論文集.
- ・動作法による過去のセルフ・イメージの変化(共著・筆頭) 2011, 日本心理学会第75回大会発表論文集.
- ・集団自律訓練法による視線恐怖傾向の軽減(共

- 著・第二) 2011, 日本心理学会第75回大会発表論文集.
- ・とけあい動作法によるパーソナル・スペースの変化(共著・第二) 2011, 日本心理学会第75回大会発表論文集.
- ・とけあい動作法によるスピーチ不安の低減効果の研究(共著・第二) 2011, 日本心理学会第75回大会発表論文集.
- ・特別な支援を要する児童のいる学級・学校への多面的支援(単著) 2011, 日本特殊教育学会第49回大会発表論文集.
- ・過去の自分及び両親に対するイメージと抑うつとの関連(共著・筆頭) 2011, 日本行動療法学会第37回大会発表論文集.
- ・余命を宣告された心臓病患者への懐かしさ出会い療法の試み(単著) 2011, 日本認知療法学会第11回学術大会発表論文集.
- ・動作法による中学生のストレスマネジメント授業(共著・第二) 2011, 日本カウンセリング学会第44回大会発表論文集.
- ・教育講座: 子どもの心を開く動作法 2011, 日本自閉症スペクトラム学会第10回研究大会発表論文集.
- ・シンポジウム: 「特殊教育学」の広がりと深化を目指して(2) —フィールドでのエビデンスを共有するために: 「質的研究」の意義と方法— 2011, 日本特殊教育学会第49回大会発表論文集.
- ・シンポジウム: 発達障害者の主体性を援助するユニバーサル・デザインの構造化—援助者と援助を受ける人との間のパートナー関係の構築— 2011, 日本特殊教育学会第49回大会発表論文集.
- ・とけあい脱感作法による不快な体験イメージの変容(単著) 2011, 日本イメージ心理学会第12回大会発表論文集.
- ・過去の自分に対するイメージと抑うつ傾向との関連—過去の自分の想起様式を介して—(共著・筆頭) 2012, 日本家族心理学会第28回大会発表論文集.
- ・プリマリタルおよびマリタルカウンセリングにおけるとけあい動作法の応用(共著・第二) 2012, 日本家族心理学会第28回大会発表論文集.
- ・過去のセルフイメージと現在の抑うつ状態との関係—クラスター分析によるセルフイメージの類型間比較—(共著・筆頭) 2012, 日本心理学会第76回大会発表論文集.
- ・シンポジウム: 共生社会の実現に向けたユニバーサル・デザインの支援 2012, 日本特殊教育学会第50回大会発表論文集.
- ・とけあい脱感作法による否定的な自己イメージの修正(共著・第二) 2011, 日本特殊教育学会第49回大会発表論文集.
- ・とけあい脱感作法による生理・心理反応の変化(単著) 2012, 日本健康心理学会第25回大会発表論文集.
- ・シンポジウム: 東日本大震災—子どもと家族・災害弱者への支援のあり方を模索する— 2012, 日本家族心理学会第28回大会発表論文集.
- ・過去のいじめ被害経験と現在の自尊感情との関係について—大学生における遡及的調査研究—(共著・第二) 2012, 日本カウンセリング学会第45回大会発表論文集.
- ・過敏性腸症候群に悩む女子学生への動作法面接—とけあい脱感作法(マインドフルネス動作法)の試み—(共著・筆頭) 2012, 日本カウンセリング学会第45回大会発表論文集.
- ・特別支援教育への取り組みにおける教育委員会と大学の連携(単著) 2012, 日本特殊教育学会第50回大会発表論文集.
- ・動作法による不快なイメージ体験の変容—「とけあい脱感作法」を用いたエクスポージャー—(単著) 2012, 日本催眠医学心理学会第58回大会発表論文集.
- ・発達障害が疑われる吃音児への動作法による援助(単著) 2012, 日本自閉症スペクトラム学会第11回研究大会発表論文集.
- ・動作法による震災後遺症からの回復過程に関する研究(単著) 2012, 日本臨床動作学会第20回大会発表論文集.
- ・大学生におけるいじめ経験に関する質問紙調査(1) —いじめの捉え方についての自由記述的分析(共著・第二) 2013, 日本カウンセリング学会第46回大会発表論文集.
- ・大学生におけるいじめ経験に関する質問紙調査

- (2) いじめ経験、いじめの捉え方と自尊感情との関係— (共著・筆頭) 2013, 日本カウンセリング学会第46回大会発表論文集.
- ・ 身体の体験がマインドフルネス、抑うつへの反すう、および自尊感情に及ぼす影響 (共著・筆頭) 2013, 日本認知療法学会第13回大会発表論文集.
 - ・ 身体の体験がマインドフルネスな気づきと自己意識、および抑うつ感に及ぼす影響 (共著・第二) 2013, 日本行動療法学会第39回大会発表論文集.
 - ・ ワークショップ：発達障害児の情動・動作・認知・行動へのアプローチ 2013, 日本心理臨床学会第32回大会発表論文集.
 - ・ シンポジウム：臨床動作法によるトラウマ体験の軽減と情動・認知の再構成をめぐって—主体のよりどころとしての身体の体験とマインドフルネス— 2013, 日本心理臨床学会第32回大会発表論文集.
 - ・ 不安を訴えるアスペルガー障害児への動作法面接 (単著) 2013, 日本自閉症スペクトラム学会第12回研究大会発表論文集.
 - ・ 身体の体験がマインドフルネス、抑うつへの反すう、およびレジリエンスに及ぼす影響 (共著・筆頭) 2013, 日本心理学会第77回大会発表論文集.
 - ・ S社の障害者雇用に関する面接調査—共生社会の実現に向けた「チャレンジド雇用」— (単著) 2013, 日本行特殊教育学会第51回大会発表論文集.
 - ・ 成人愛着スタイルと、身体感覚への体験、マインドフルネス、レジリエンス、及び自尊感情との関係 (共著・筆頭) 2014, 日本家族心理学会第31回大会発表論文集.
 - ・ 身体感覚への体験が、マインドフルネス、抑うつへの反すう、レジリエンス、及び自尊感情に及ぼす影響 (共著・筆頭) 2014, 日本心理学会第78回大会発表論文集.
 - ・ 動作法による自閉症スペクトラム児への行動変容—行動変容の関連性と階層性について— (単著) 2014, 日本自閉症スペクトラム学会第13回研究大会発表論文集.
 - ・ 講演：マインドフルネスを活かした心理支援 2014, 日本学校心理士大会発表論文集.
 - ・ 成人愛着スタイルが自尊感情に及ぼす影響—身体感覚への体験、マインドフルネス、抑うつへの反すう、及びレジリエンスとの関連— (単著) 2014, 日本行特殊教育学会第52回大会発表論文集.
 - ・ シンポジウム：教育現場における情動調整を目指した取り組み—認知・行動、セルフマネジメント、サーツモデル、動作法を活用して— 2014, 日本行特殊教育学会第52回大会発表論文集.
 - ・ いじめと仮想的有能感および自尊感情との関係—大学生における中学時代の想起による— (共著・筆頭) 2014, 日カウンセリング学会第47回大会発表論文集.
 - ・ 結婚前準備講座とプリマリタルカウンセリングの試み (共著・第三) 2014, 日本カウンセリング学会第47回大会発表論文集.
 - ・ 身体の体験の仕方が、マインドフルネス、抑うつへの反すう、およびレジリエンスに及ぼす影響 (共著・筆頭) 2014, 日本認知・行動療法学会第40回大会発表論文集.
 - ・ 動作法によるマインドフルネスな気づきと感情・認知の再構成 (共著・第二) 2014, 日本認知・行動療法学会第40回大会発表論文集.
 - ・ シンポジウム：身体性とイメージ：動作法による「頭モード」の解決様式から「身体モード」の解決様式へのシフト—鏡映描写課題とストループ課題を用いて— 2014, 日本イメージ心理学会第15回大会発表論文集.
 - ・ 研修講座：臨床動作法が拓く心と身体の体験世界 2015, 日本健康心理学会第95回研修会.
 - ・ 幼児期の両親からの身体接触と愛着スタイルおよび信頼感 (共著・筆頭) 2015, 日本家族心理学会第32回大会発表論文集.
 - ・ 動作法を用いたマインドフルネス・カップルカウンセリング (共著・第二) 2015, 日本家族心理学会第32回大会発表論文集.
 - ・ 動作法は鏡映描写課題の遂行にどのような変化をもたらすか—遂行様式における認知モードから身体体験モードへのシフト— (共著・筆頭)

- 2015, 日本心理学会第79回大会発表論文集.
- ・ 愛着障害が疑われる自閉症スペクトラム児への動作法（単著）2015, 日本自閉症スペクトラム学会第14回研究大会発表論文集.
 - ・ 動作法による心身の調和的な体験が弦楽器の演奏に及ぼす効果（単著）2015, 日本イメージ心理学会第16回大会発表論文集.
 - ・ Effects of Dohsa-method based mindfulness on the performance of executive functions: using mirror drawing task and Stroop test task.（単著）2016, 日本心理学会第80回大会 & 第31回国際心理学会議発表論文集.
 - ・ 『懐かしさ出会い療法』による高齢者の過去の想起様式の特徴—動作法の快適な心身の体験による過去の出来事の回想—（共著・筆頭）2016, 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集.
 - ・ 発達障害児における感覚過敏の様態と動作法による支援との関係（共著・筆頭）2016, 日本特殊教育学会第54回大会発表論文集.
 - ・ 研修講座：発達障害に対するボディワーク 2016, 日本カウンセリング学会第49回大会発表論文集.
 - ・ ASD児のこだわり行動の形成過程と動作法による軽減過程（単著）2016, 日本自閉症スペクトラム学会第15回研究大会発表論文集.
 - ・ 大学生における成人愛着スタイルとレジリエンスおよびネガティブライフイベントとの関係（共著・筆頭）2016, 日本家族心理学会第33回大会発表論文集.
 - ・ 講演：心身の調和的なつながりの体験による自己—他者—外界に対するイメージの変容 2017, 日本イメージ心理学会第18回大会発表論文集.
 - ・ 自傷行動の不安から引きこもりになった自閉症青年へのとけあい動作法による支援—過敏性の軽減と不安反応の脱感作—（単著）2017, 日本自閉症スペクトラム学会第16回研究大会発表論文集.
 - ・ 感覚過敏とその関連行動の出現過程と動作法による軽減過程（単著）2017, 日本特殊教育学会第55回大会発表論文集.
 - ・ 懐かしさ出会い療法による高齢障害者のスピリチュアリティの支援（共著・筆頭）2017, 日本カウンセリング学会第50回大会発表論文集.